

## 尼崎市の自然的・社会的特性

## 1 自然的特性

## (1) 地勢

尼崎市は、大阪平野の西部にあって、六甲、妙見山系と伊丹洪積層台地がゆるやかな傾斜を描いて大阪湾に下る広大な三角州上（沖積層平地）に立地しており、地形は概ね平坦となっている。

兵庫県の東南部に位置し、東西 8.3km、南北 11.1km で、総面積は 50.72k m<sup>2</sup>（2017 年 3 月現在）となっている。東は神崎川、左門殿川を隔てて大阪市と、猪名川をはさんで豊中市と接し、北は伊丹市と、西は武庫川を境に西宮市と接し、南は大阪湾に面している。



図 1 尼崎市の位置

## (2) 気象

### ア 気温・降水量の概況

大阪管区気象台の気温・降水量の平年値（統計期間：1981～2010年）を以下に示す。

尼崎市は、温暖少雨を特徴とする瀬戸内海式気候区に属し、都市気候の特徴を併せ持っている。

尼崎市の年平均気温の平年値は16.9、降水量の平年値は1,279mmであり、梅雨と秋雨の間の盛夏（8月）に降水量が少なくなる特徴がある。

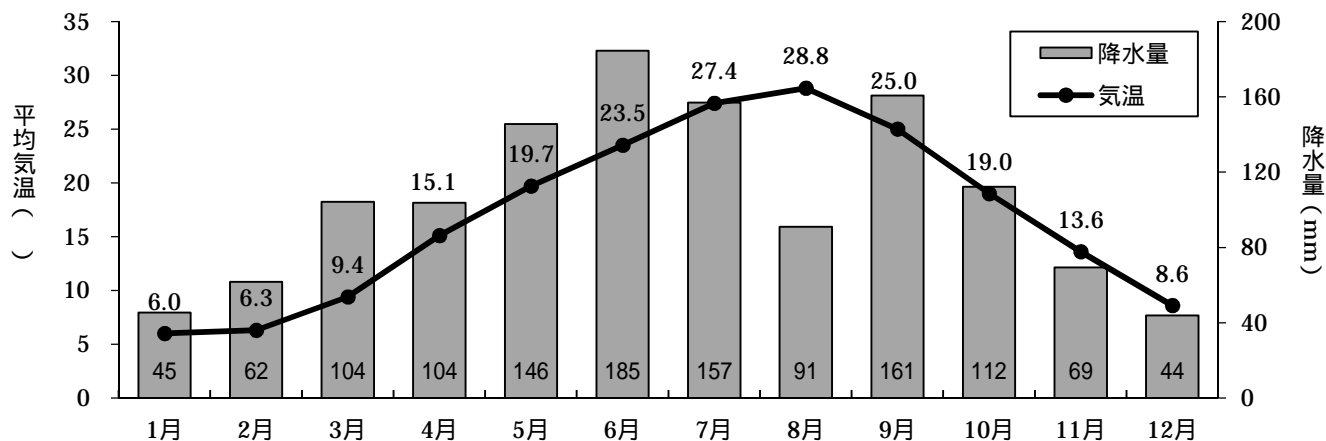


図2 気象・降水量の平年値（1891年～2017年）（大阪管区気象台） 出典：気象庁

### イ 気温の経年変化

大阪管区気象台の年平均気温の推移（統計期間：1891～2017年）を以下に示す。

尼崎市の気温は、過去100年間で2℃程度上昇しており、特に1950年代から2010年頃にかけて顕著に気温が上昇している様子がみられる。

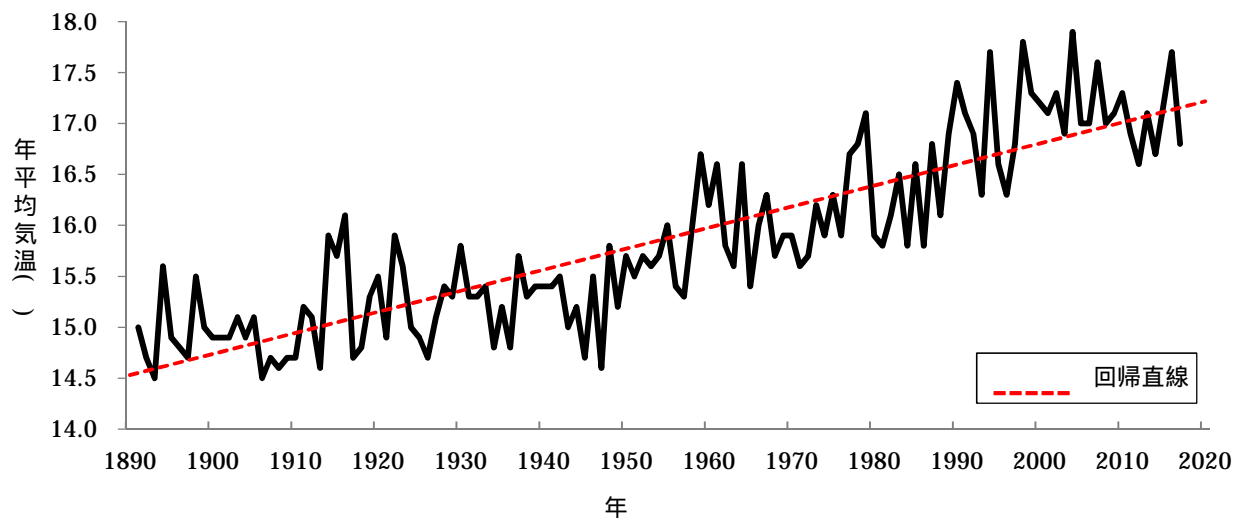


図3 年平均気温の推移（1891年～2017年）（大阪管区気象台） 出典：気象庁

### ウ 降水量の経年変化

尼崎市の年降水量の推移（統計期間：1891～2010年）を以下に示す。

尼崎市の年降水量は、おおむね 1,000mm から 1500mm の間で推移しており、年降水量の増減等の大きな変化はみられません。

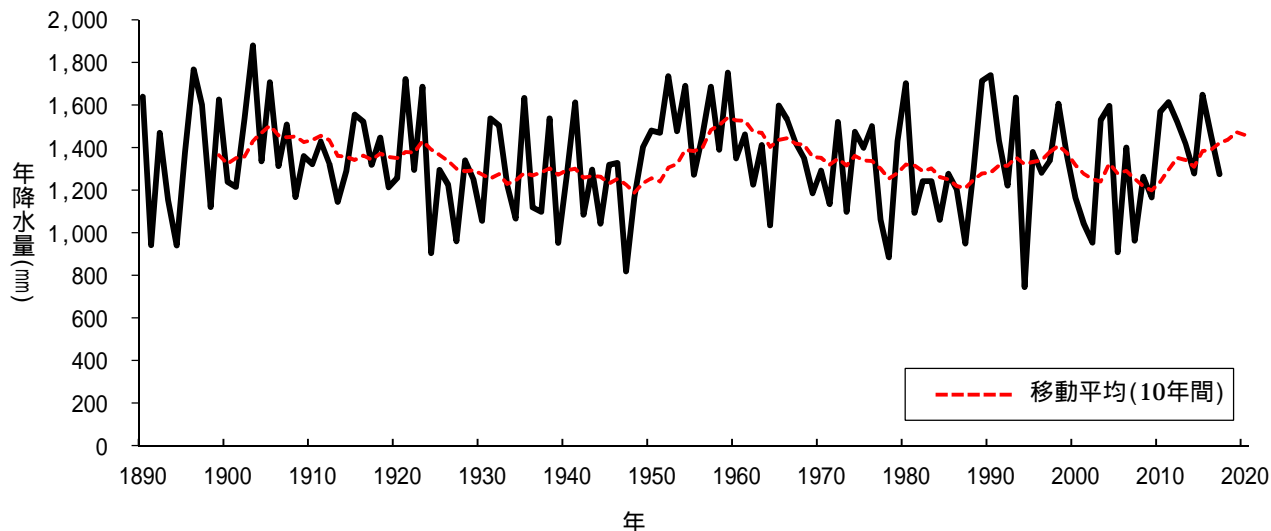


図4 年降水量の推移（1891年～2017年）（大阪管区気象台） 出典：気象庁

### エ 真夏日・熱帯夜の年間日数

1972年～2016年における尼崎市の真夏日（最高気温が30℃以上の日）、熱帯夜（最低気温が25℃以上の夜）の発生日数を以下に示す。

年によるばらつきが大きいですが、真夏日、熱帯夜の発生日数は増加傾向で推移しており、過去10年間（2006～2016）での発生日数は、真夏日は年約50～90日、熱帯夜は年約30～70日となっている。

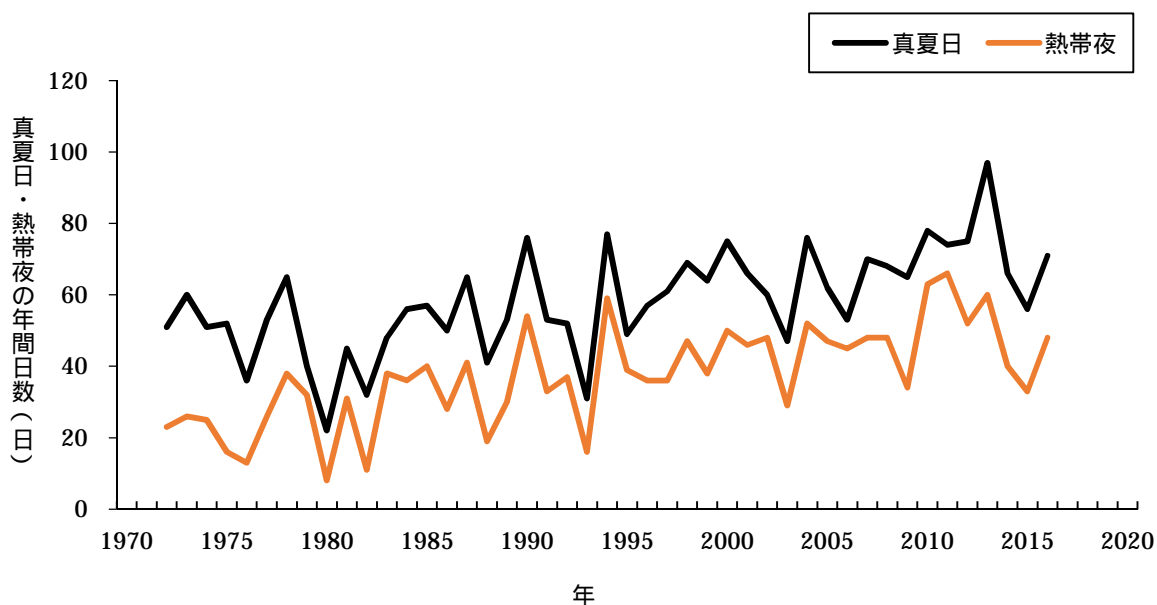


図5 真夏と熱帯夜の年間日数の推移（国設尼崎大気環境測定所） 出典：尼崎の環境

### (3) 土地利用状況

尼崎市の都市計画用途地域を以下に示す。

尼崎市は平坦な地形を反映した土地利用状況となっており、住宅地及び工業地域が広く分布している。  
また、沿岸部は工業専用地域となっている。

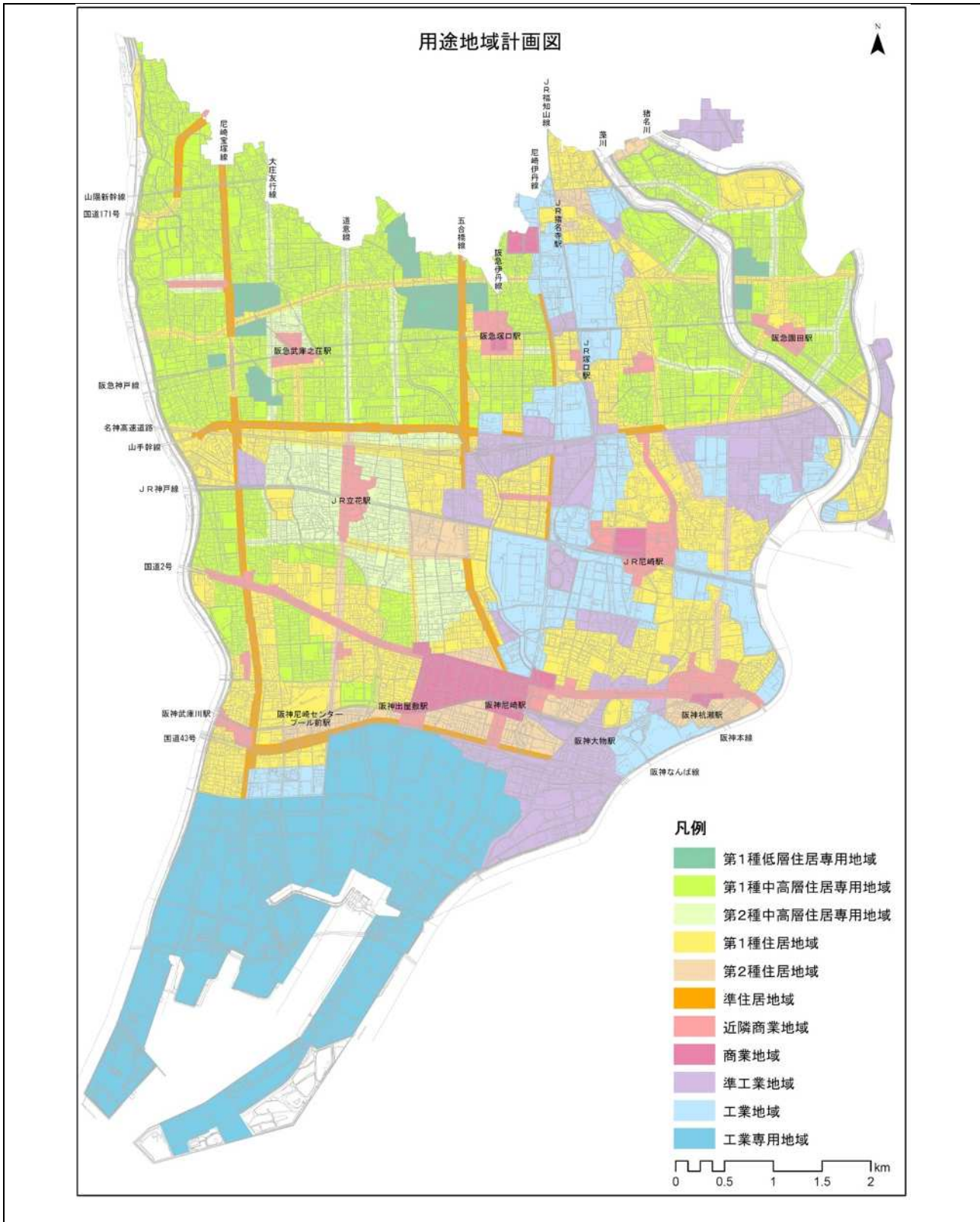


図6 尼崎市都市計画用途地域図 出典：尼崎市都市計画 用途地域計画図

また、尼崎市の都市公園の状況と住区基幹公園を除く、主な公園・緑地の分布を以下に示す。  
 なお、市民一人当たりの公園面積は、平成 27 年 4 月 1 日現在、約 4.28m<sup>2</sup>/人となっている。

表 1 尼崎市内の都市公園等の状況

種 別		箇所数	面積 ( ha )	
基幹公園	住区基幹公園	街区公園	241	49.39
		近隣公園	19	26.43
		地区公園	7	17.84
	都市基幹公園	総合公園	3	12.81
		運動公園	1	10.94
特殊公園	風致公園	2	0.85	
	街園	18	0.21	
都市緑地		40	64.44	
広場公園		4	0.35	
緑道		7	2.19	
小計		342	185.45	
県立公園 尼崎の森中央緑地 都市緑地		1	14.70	
合計		343	200.15	

出典：尼崎市統計書

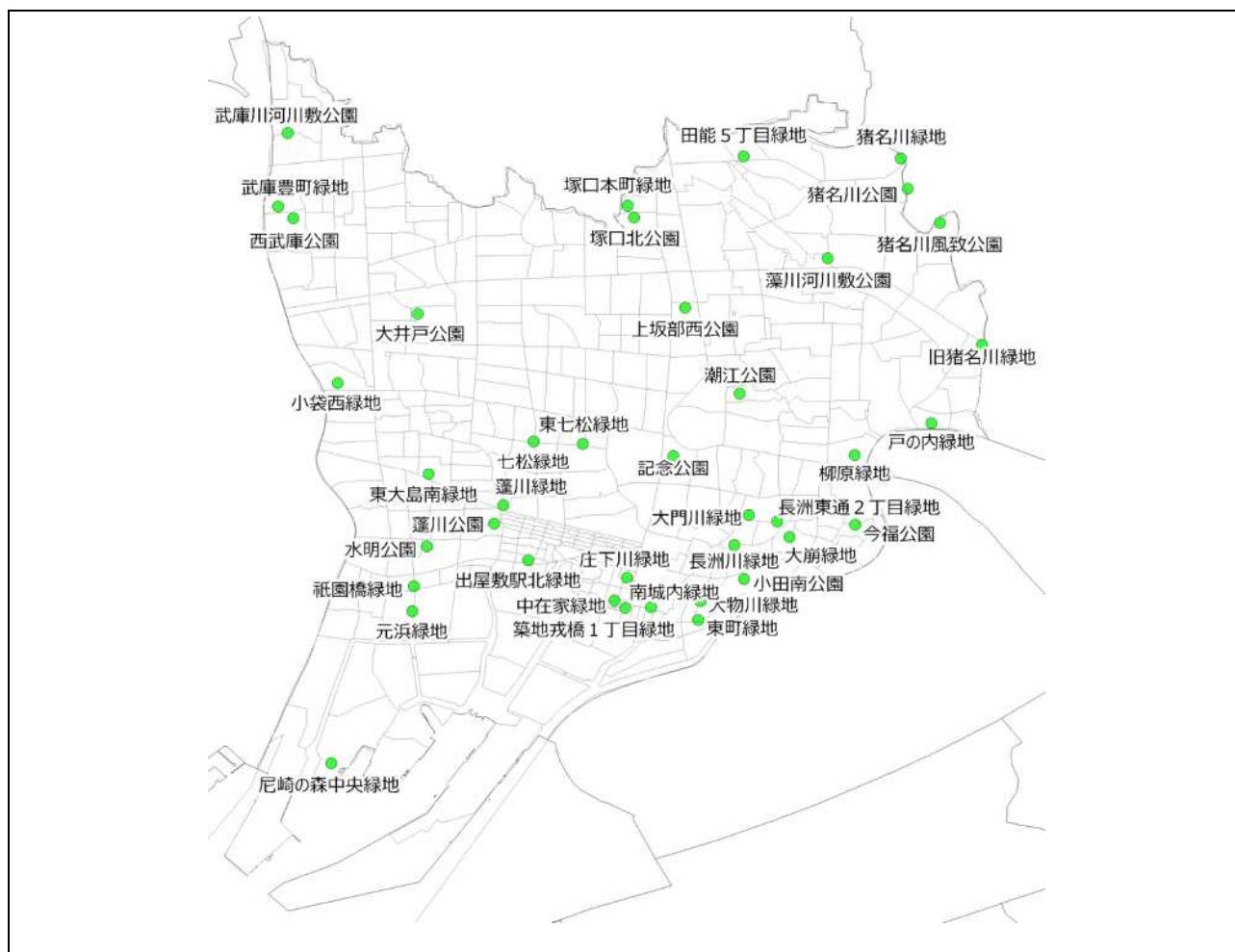


図 7 尼崎市内の主な都市公園 出典：国土交通省国土数値情報ダウンロードサービス

## 2 社会的特性

### (1) 人口・世帯数

過去 30 年間の尼崎市の人口・世帯数の推移を以下に示す。

尼崎市の人口は減少傾向で推移しており、2015 年（平成 27 年）の人口は 452,563 人となっている。核家族化の進行により世帯数は増加傾向で推移しており、2015 年（平成 27 年）の世帯数は 210,433 世帯となっている。

なお、尼崎市の人口密度は 8,923 人/km<sup>2</sup>（面積：50.72km<sup>2</sup>）であり、兵庫県下で最も高い状況となっている。

また、平成 29 年 3 月 31 日現在の年齢層別構成比については、高齢人口は 27%と全国の高齢人口比と同程度、年少人口も 12%とほぼ全国の年少人口比と同程度となっている。

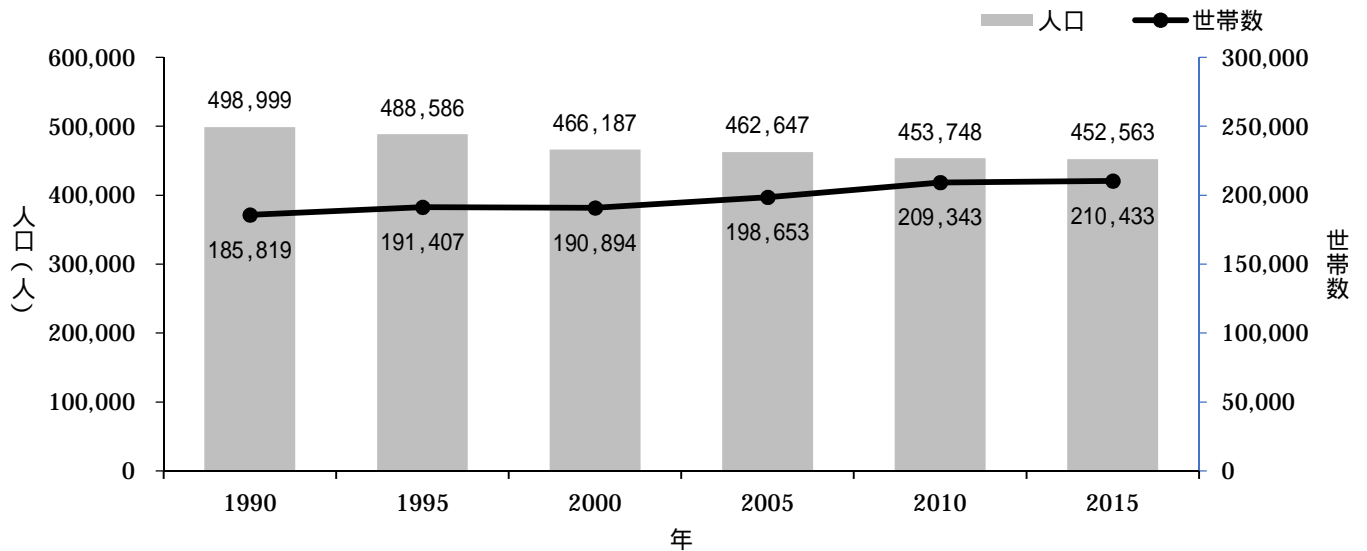


図 8 尼崎市の人口・世帯数の推移 出典：国勢調査

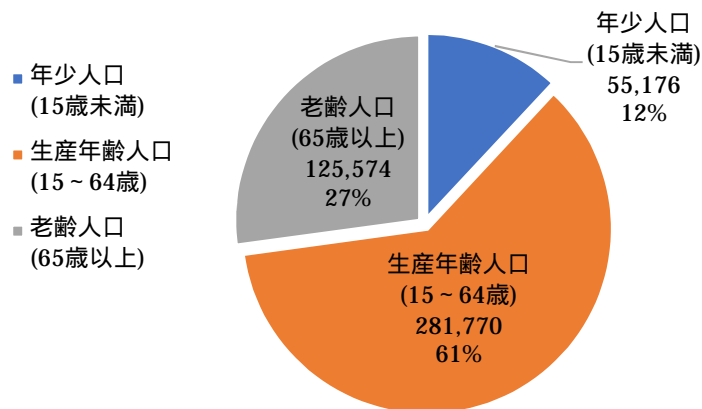


図 9 尼崎市の年齢区分別構成比（平成 29 年 3 月 31 日現在） 出典：尼崎市統計書

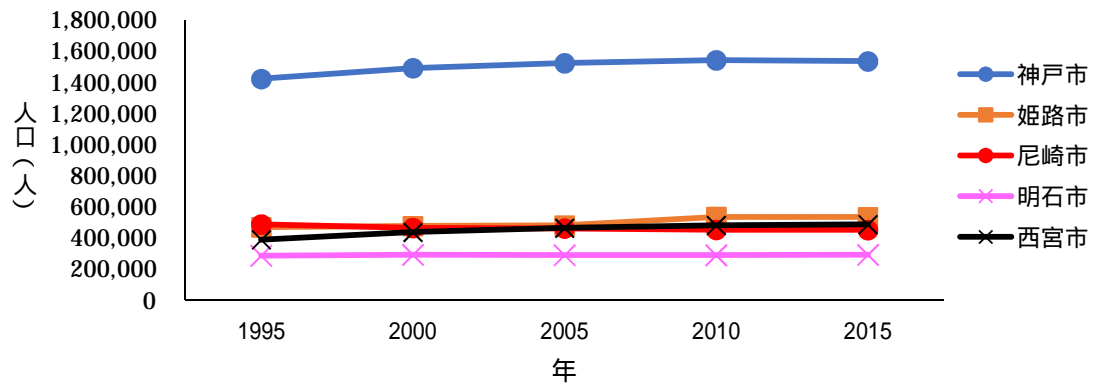


図 10 尼崎市と周辺他市の人口推移 出典：兵庫県統計書

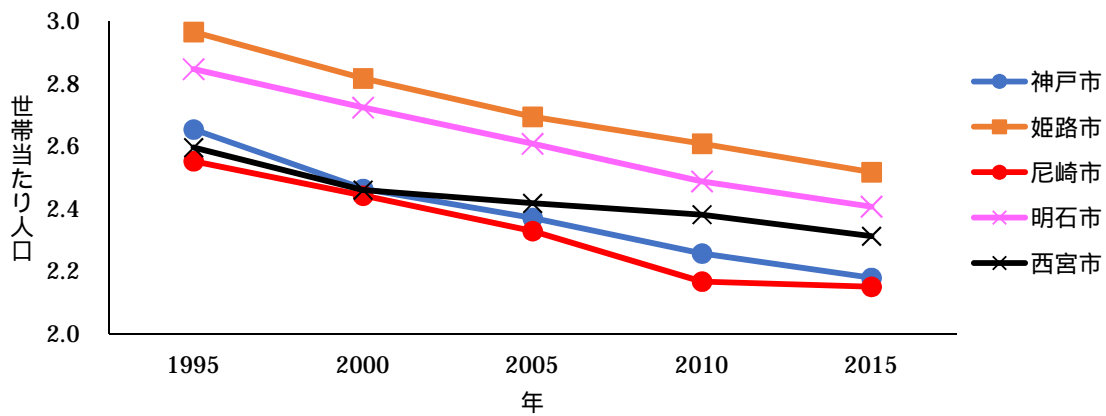


図 11 尼崎市と周辺他市の人口・世帯当たり人口の推移 出典：兵庫県統計書

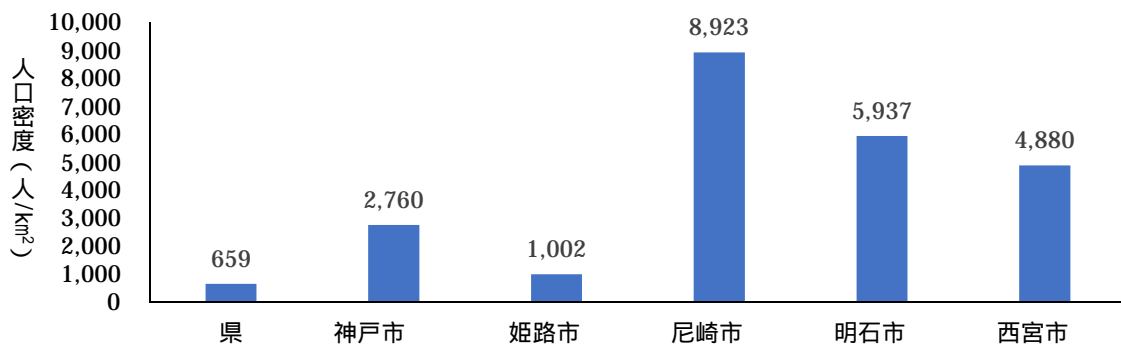


図 12 尼崎市と周辺他市の人口密度 出典：兵庫県統計書

(2) 市内総生産

「平成 27 年度市町民経済計算」(平成 30 年：兵庫県)より、尼崎市の市内総生産額の推移及び産業別構成比を以下に示す。

尼崎市の総生産額は平成 9 年度をピーク(約 2 兆 20 億円)に減少傾向で推移していますが、近年は平成 24 年を境に上昇基調で推移している。

総生産の 66%は第 3 次産業、34%は第 2 次産業によるもので、第 1 次産業の総生産は約 2 億円程度にとどまっている。

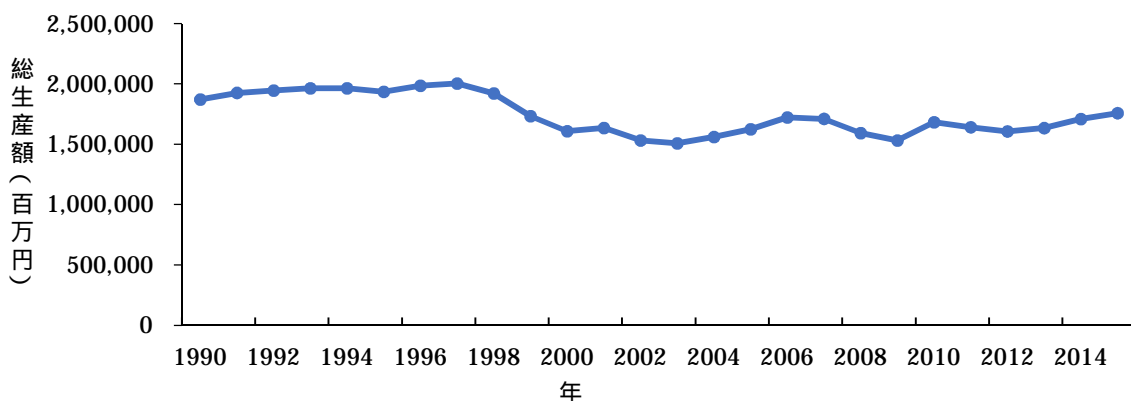


図 13 尼崎市の総生産の推移 出典：市町民経済計算(兵庫県)

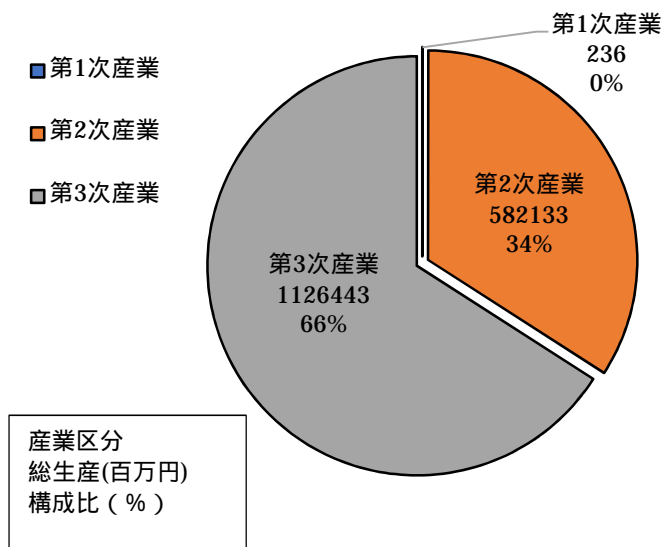


図 14 尼崎市の産業分類別総生産 (平成 27 年度)



### (3) 農業

尼崎市の農家数の推移を以下に示す。

尼崎の農家数は減少傾向で推移しており、平成 27 年の総農家数は 294 軒となっている。

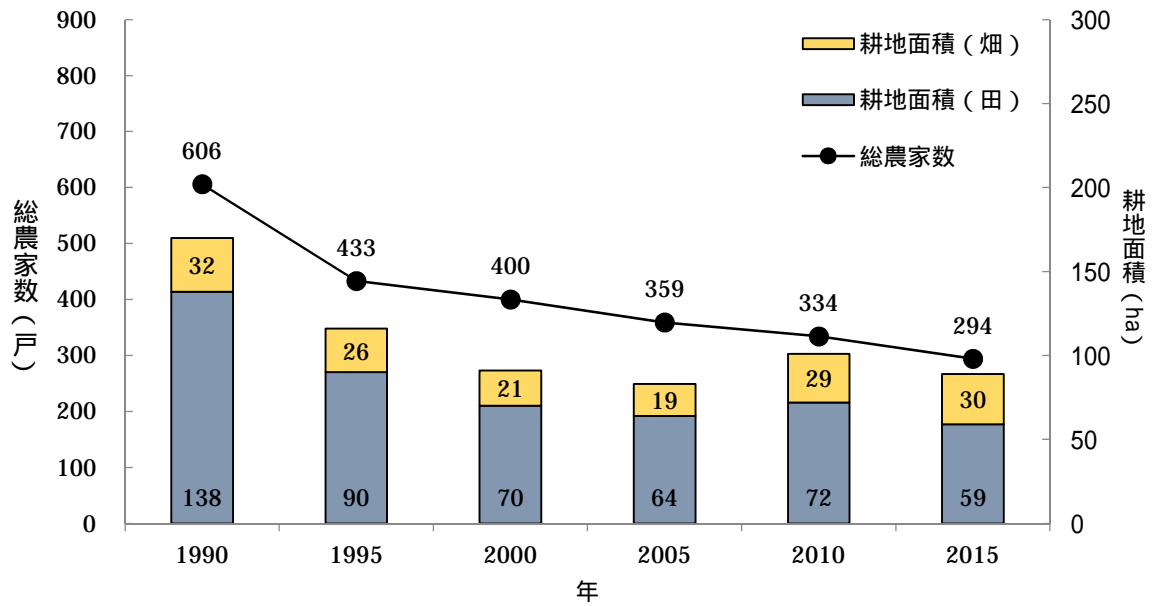


図 15 尼崎市の農家数・耕地面積の推移 出典：尼崎市統計書

#### (4) 工業

尼崎市の製造業の主要指標の推移を以下に示す。

尼崎市の製造業では、事業所数、従業者数が減少傾向で推移しており、製造品出荷額等も近年では2008年をピークに減少傾向で推移している。

また、平成26年末における事業所数は783事業所、従業者数は32,645人であり、製造品出荷額等は約1兆3144億円となっている。

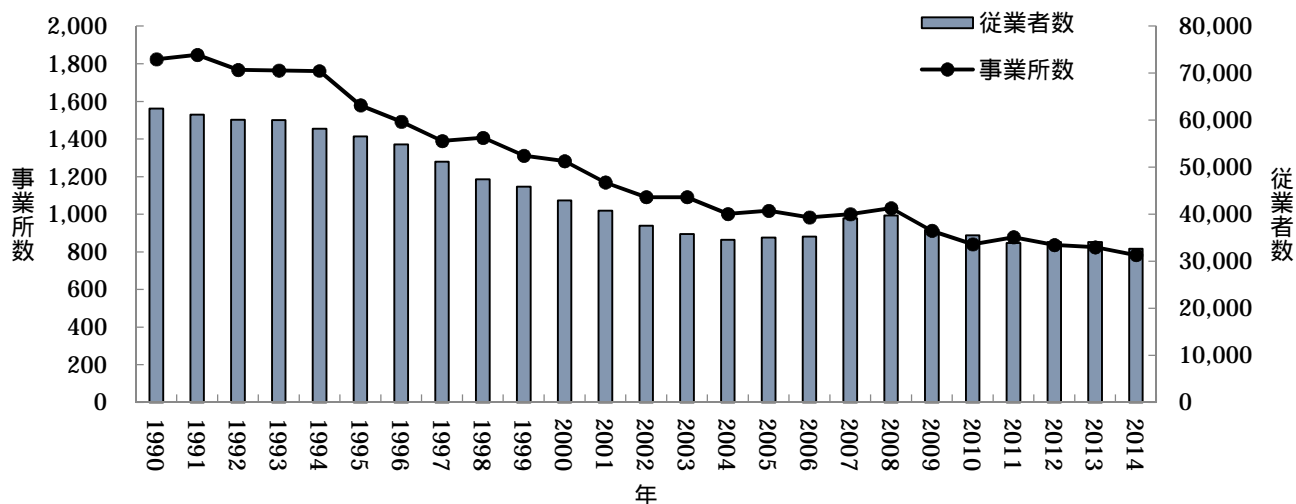


図 16 尼崎市の事業所数、従業者数の推移（工業） 出典：尼崎市統計書

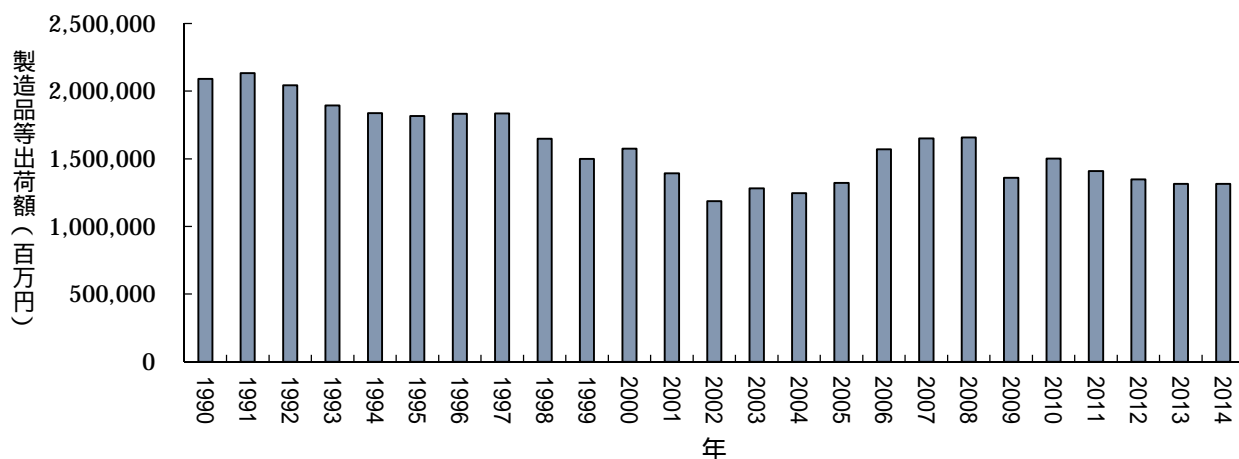


図 17 尼崎市の製造品出荷額等の推移 出典：尼崎市統計書

### (5) 商業

尼崎市の商業における事業所数及び従業者数の推移、年間商品販売額の推移を以下に示す。

尼崎市では、従業者数及び事業所数については減少傾向で推移している。年間商品販売額は、2002年までは減少しているが、それ以降は横ばいで推移している。

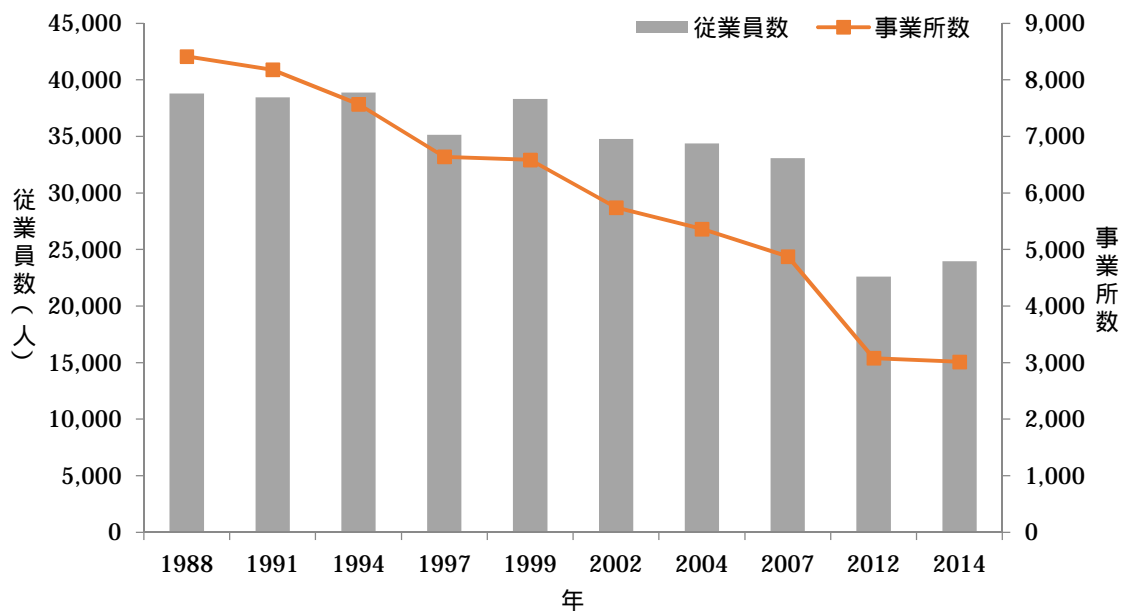


図 18 尼崎市の事業所数、従業者数の推移 (商業) 出典：尼崎の環境

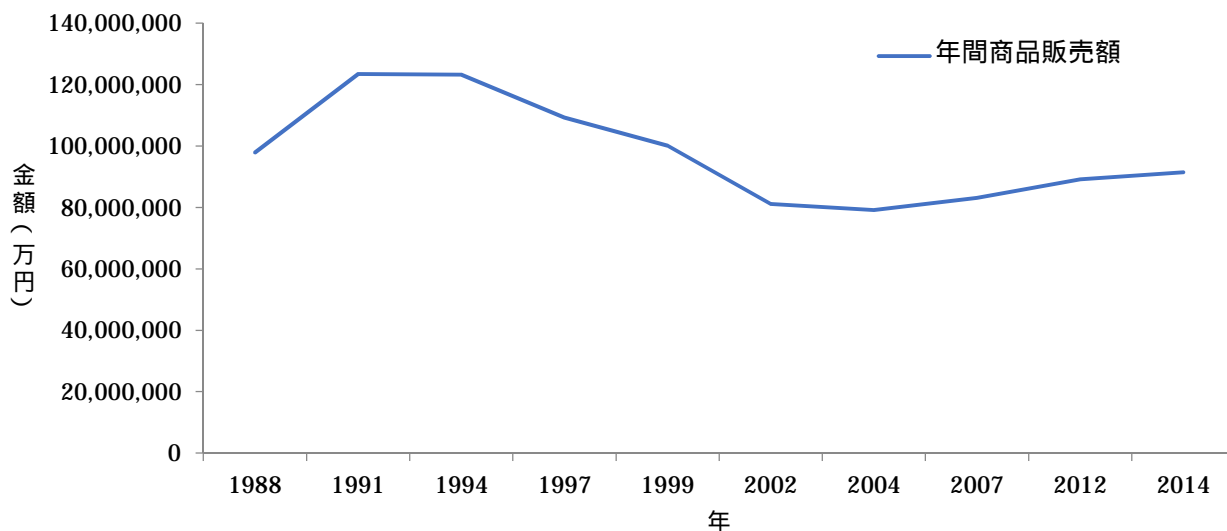


図 19 尼崎市の年間商品販売額の推移 出典：尼崎の環境

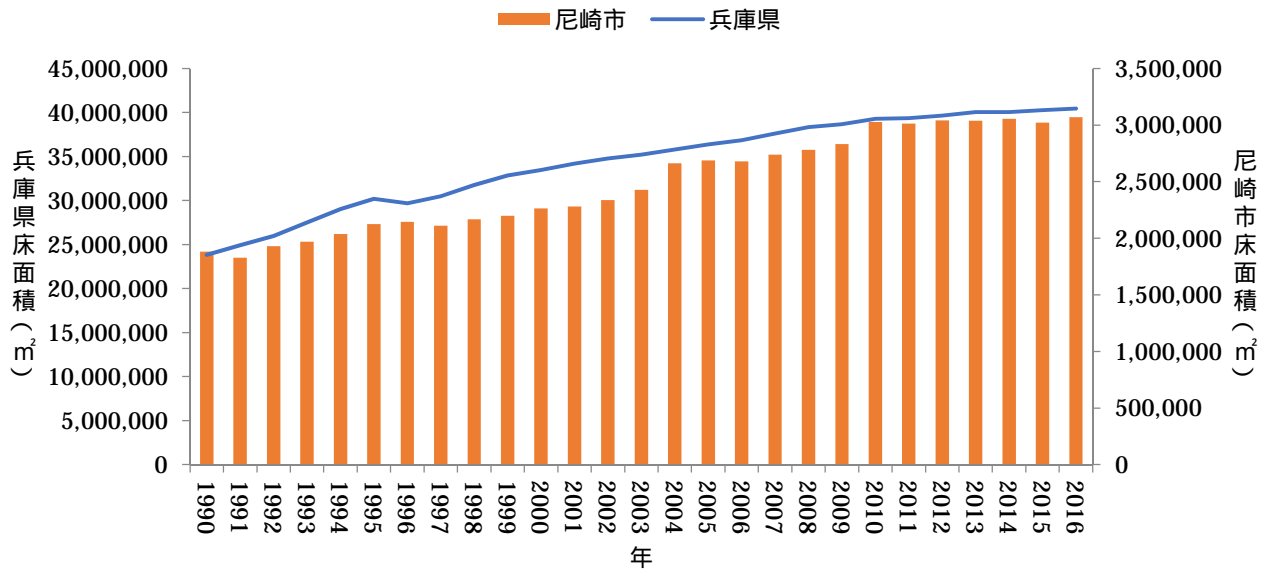


図 20 兵庫県・尼崎市の商業施設床面積の推移 出典：固定資産概要調査

(6) 交通

尼崎市の車両保有台数の推移を以下に示す。

尼崎市内の車両保有台数は、1997年以降、減少傾向で推移しており、平成28年度の車両保有台数は116,134台となっている。

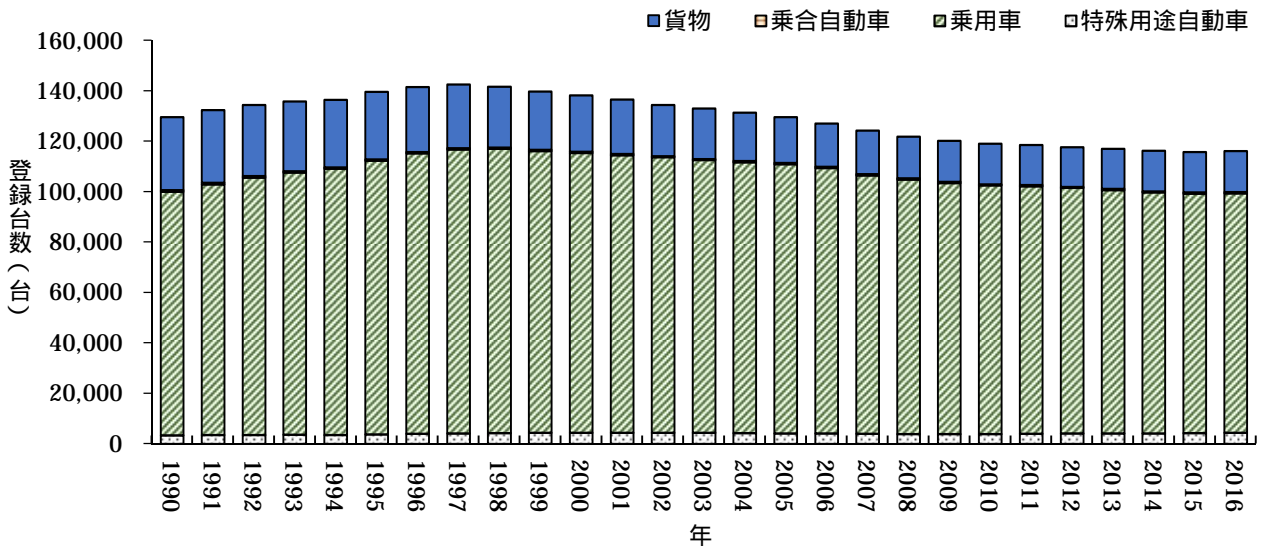


図 21 尼崎市の車両保有台数の推移 出典：尼崎市統計書

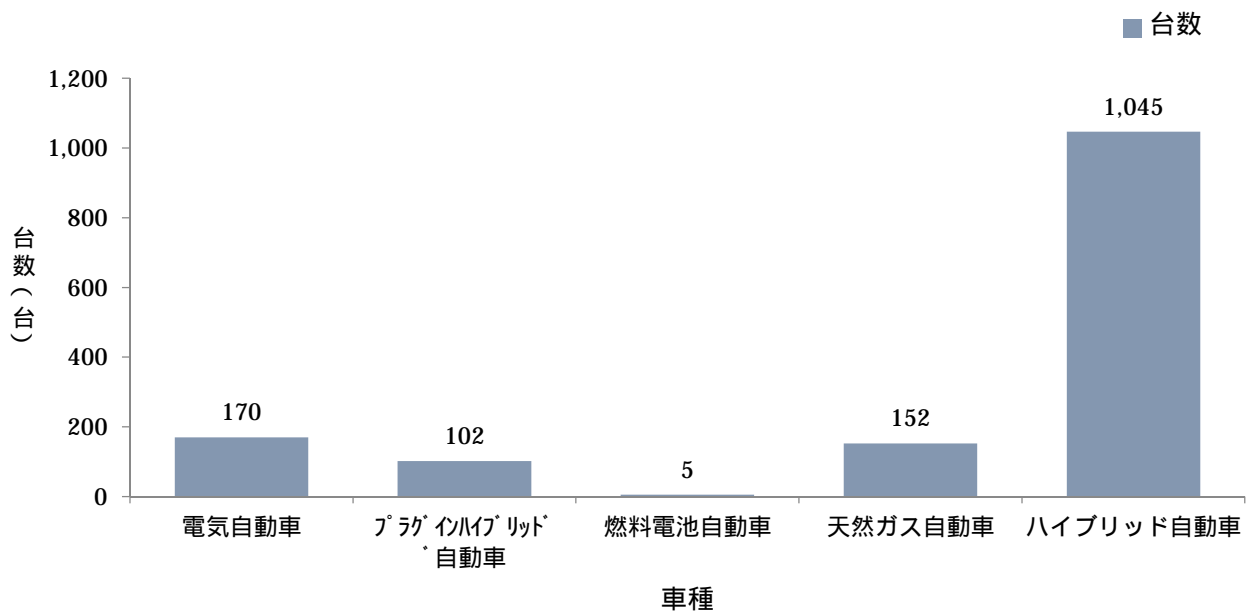


図 22 尼崎市のエコカー保有台数の内訳（平成 29 年 3 月 31 日現在）  
出典：（一社）自動車検査登録協会及び尼崎市税務管理課

尼崎市内の鉄道利用者数（乗客数）の推移を以下に示す。

鉄道利用者数（3 社合計）は乗客数 220,000 万人/日付近で横ばいに推移している。また、JR は乗客数が増える傾向で推移しており、阪急電車、阪神電車の乗客数はやや減少傾向で推移している。

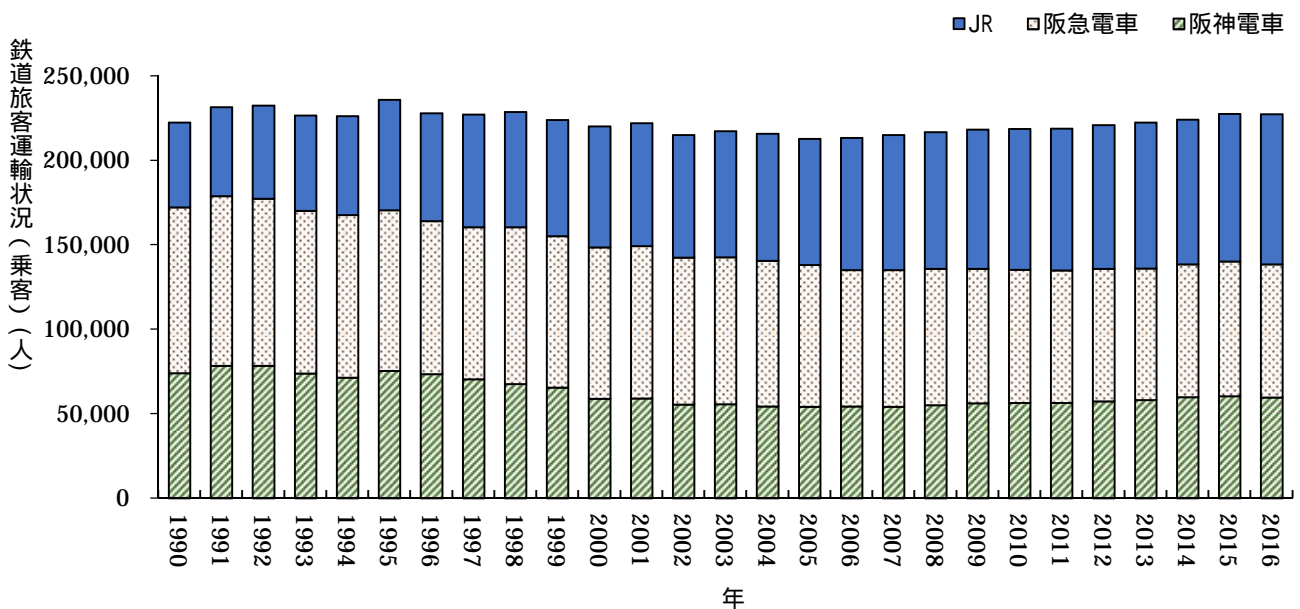


図 23 尼崎市内の鉄道利用者の推移 出典：尼崎市統計書

( 9 ) 発電施設等

ア 尼崎市内の発電施設の状況

尼崎市内に立地する主な発電施設を以下に示す。

尼崎市には、2 件の廃棄物発電所、6 件のメガソーラー、2 件のガスコージェネレーション発電施設が立地している。

表 2 尼崎市内の主な発電施設

発電区分	発電所名	事業者	出力
廃棄物発電	クリーンセンター第1工場2号炉	尼崎市	2.6 MW
	クリーンセンター第2工場	尼崎市	14.0 MW
太陽光発電	エコひょうご尼崎発電所	(公財)ひょうご環境創造協会	9.9 MW
	GLP 尼崎ソーラー発電所	GLP ソーラー合同会社	1.3 MW
	プロロジスパーク尼崎1	プロロジス・グリーン株式会社	0.6 MW
	プロロジスパーク尼崎2	プロロジス・グリーン株式会社	1.2 MW
	プロロジスパーク尼崎3	プロロジス・グリーン株式会社	0.6 MW
	尼崎地区スマートグリッド実証実験設備	三菱電機株式会社	4.0 MW
ガスコージェネ	尼崎エネルギーサービス発電所	尼崎エネルギーサービス株式会社	4.0 MW
	尼崎工場ガスタービン発電設備	レンゴー株式会社	15.8 MW

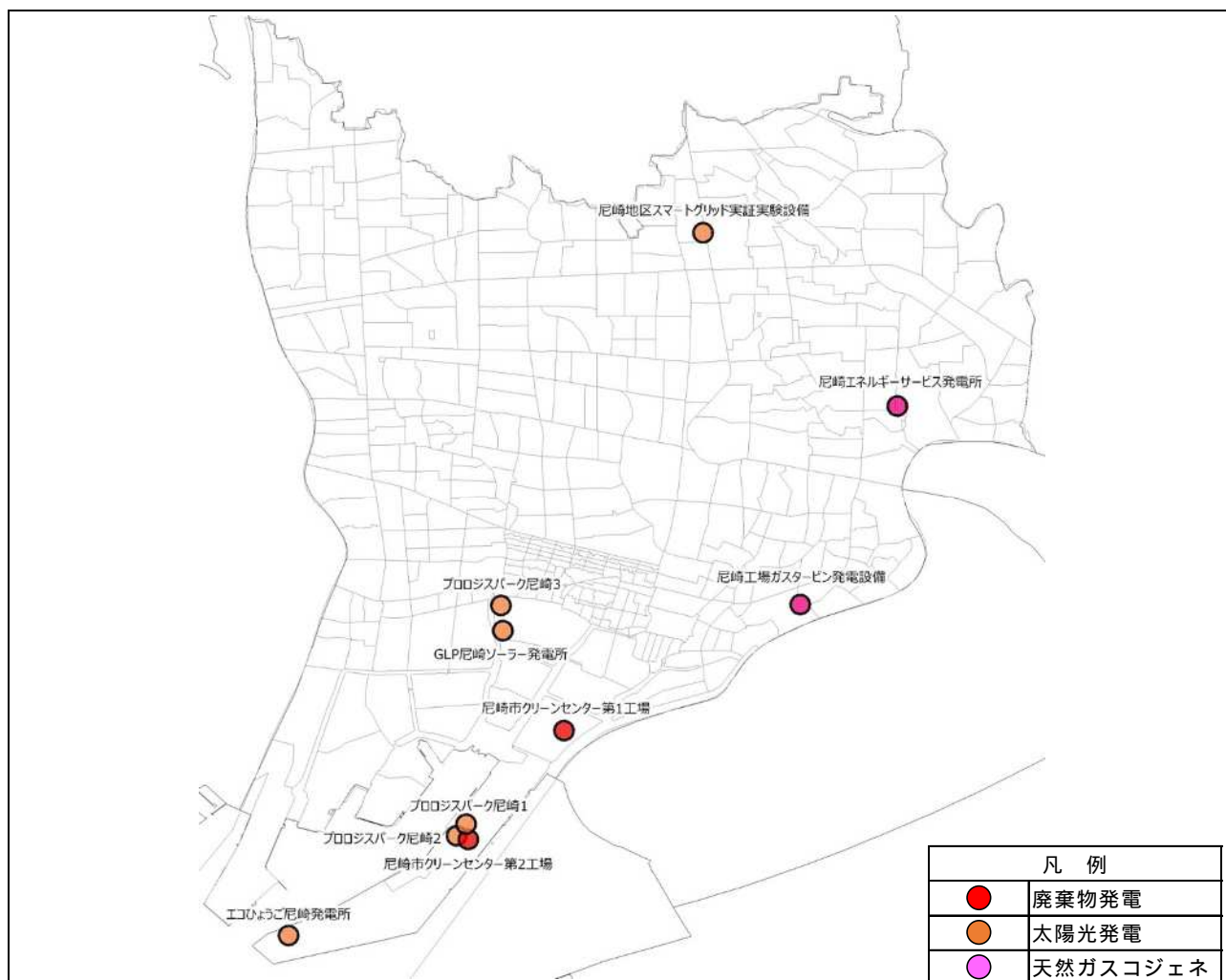


図 24 尼崎の主な発電施設の分布

イ 固定価格買取制度を活用した再生可能エネルギー設備の導入状況

「平成 28 年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備報告書」(平成 29 年：環境省)より、固定買取制度を活用した再生可能エネルギー設備の導入状況を以下に示す。

尼崎市内では固定買取制度利用した発電設備が 4,109 件、43,167kW 導入されている。

表 3 尼崎市内の固定買取制度利用による再生可能エネルギー導入状況

発電方式	太陽光	風力	水力	地熱	バイオマス	合計
件数	4,107	0	0	0	2	4,109
導入量(kW)	34,150	0	0	0	9,018	43,167

出典：平成 28 年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備報告書 (平成 29 年 3 月 環境省)

ウ 尼崎市の再生可能エネルギー賦存量等の状況

環境省の「平成 28 年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備報告書」(平成 29 年：環境省)より、尼崎市内の再生可能エネルギー賦存量等を以下に示す。

尼崎市内は陸上風力、中小水力発電の活用は難しいですが、太陽光発電は、96～338MW 相当の導入ポテンシャル(設置可能性を考慮したエネルギー資源量)があると推測されている。

また、「NEDO 日射量データベース閲覧システム」より、関西の全天日射量及び最適傾斜角日射量分布を以下に示しますが、尼崎市内は、年平均日射量は 13～14MJ/m<sup>2</sup>・日とされている。

表 4 尼崎市内の再生可能エネルギー賦存量・導入ポテンシャル

	太陽光	陸上風力	中小水力	地熱	太陽熱	地中熱
賦存量	-	0 MW	0 MW	0 MW (地熱資源量)	-	-
導入ポテンシャル	96-338 MW	0 MW	0 MW	0 MW	8-9 億 MJ/年	104 億 MJ/年

注) 賦存量：理論上のエネルギー資源量(実現性等は考慮されていない)

導入ポテンシャル：設置可能性を考慮したエネルギー資源量

出典：平成 28 年度再生可能エネルギーに関するゾーニング基礎情報整備報告書 (平成 29 年 3 月 環境省)

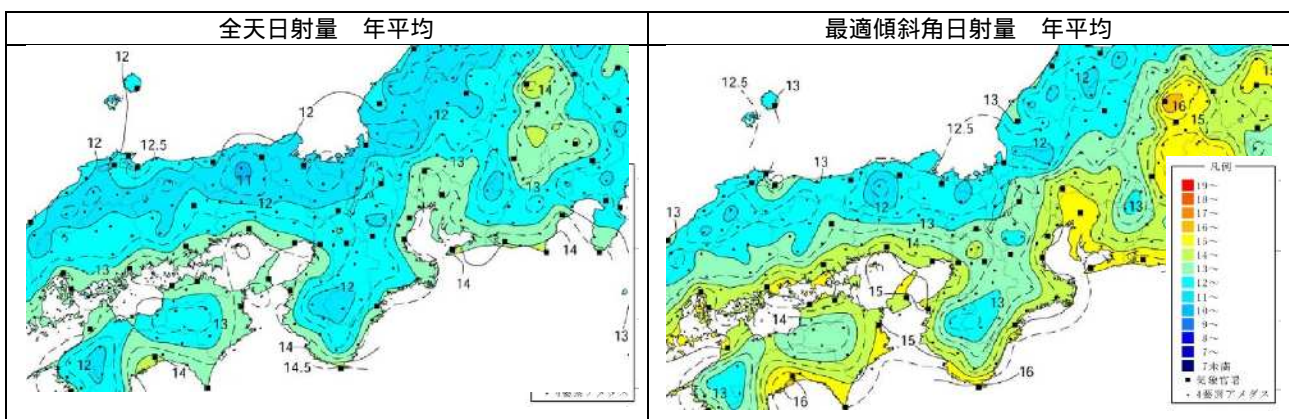


図 25 関西地域の平均日射量分布 出典：NEDO 日射量データベース閲覧システム